ハロウインターナショナルスクール
安比ジャパン
マイケル・ファーリー校長

ハロウインターナショナルスクールは、450年の歴史をもち、母校である英国ハロウスクールの伝統と文化を大切にしています。

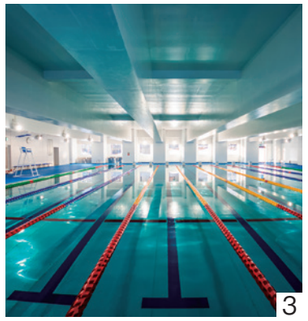
ハロウ安比校は、英国のハロウスクール同様、全寮制の学校として、母校のDNAをより強く引き継ぐべく、素晴らしい教育と唯一無二の経験を子どもたちに提供する学校となることでしょう。

卓越した教育(Academic Excellence)を通して、生徒一人一人最大限の能力を引き出すことで最高の結果を導き出すだけでなく、常に進歩的・革新的な教育機関であり続けることで、変化し続ける時代の中でも、学び続ける姿勢を持ち、自らの人生を切り開き、自分の活躍するフィールドでリーダーシップを発揮できる人材の育成に注力します。

また、ハロウの教育の特徴として、4つのハロウの価値観(勇気・名誉・友情・謙虚)をベースにした教育を大切にしているという事が挙げられます。

リーダーとして責任あるポジションに立ち社会に貢献する人物として、また自分の人生を導くリーダーとして、この価値観がコンパスとなり素晴らしい人生へと導いてくれることを信じ、教育の柱としています。

1



3

2

4

5

1／全校集会などを行う650人収容可能な講堂　2／先端技術と素材を駆使し、モノづくりを行うイノベーションセンター　3／9レーンが整備された室内プール　4／ゴールデンウィークに前森山で行った体験学習の様子　5／1万冊程度収容可能な図書館

HARROW INTERNATIONAL SCHOOL APPI JAPAN

ハロウ安比校開校へ

ハロウインターナショナルスクール安比ジャパン(ハロウ安比校)は、8月29日に開校の予定です。

本号では学校の特徴や施設の一部について紹介します。

■インターナショナルスクール開校

本市に開校予定で県内初となるインターナショナルスクール「ハロウインターナショナルスクール安比ジャパン(ハロウ安比校)は、英国名門私立学校「ハロウスクール」のインターナショナルスクールです。

令和2年6月に起工式を行い、現在は物品の搬入など8月29日の開校に向けた最終準備を進めています。

ハロウインターナショナルスクールとしてはアジア10校目の開校で、全寮制は母校英国のハロウスクール以外では初めてとなります。

■ハロウ安比校の特徴

ハロウ安比校は、英国の教育方式を取り入れた学校で、7年生から13年生(日本でいう小学校6年生から高校3年生)の7学年制となっています。

寮では年少から年長の生徒が一つの家族として生活することで、他人への思いやりやリーダーシップを身に付け、世界を舞台に活躍する人材の輩出を目指しています。

また、安比高原が有する自然資源を教材とするとともに、地域社会との交流を通じて地域の特色や課題を理解することも大切な学びの一つに位置付けています。

■学校との連携

岩手県で初めてのインターナショナルスクールが、本市に開校することで、地元の子どもたちとの交流や地域との連携に期待が寄せられています。

ハロウ安比校はさまざまな国や地域の子どもたちが入学する学校です。多様な価値観や文化的な背景、歴史を持つ人たちとの交流を深めることで、相互理解とともにグローバルな視点で物事を捉えられるようになることが期待されることから、市では今後、ハロウ安比校と教育・文化・スポーツなどさまざまな分野において、相互に連携しながら、教育の質の向上や地域振興への取り組みを進めていきます。

■制服などを展示しています

市では生徒が着用する制服や紹介パネルを、市役所結のひろばに展示しています。

8月下旬まで展示しています